

感染症情報 6月24日～30日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,763例	(堺市 148例)
②感染性胃腸炎	864例	(堺市 70例)
③溶連菌感染症	688例	(堺市 93例)
④ヘルパンギーナ	281例	(堺市 23例)
⑤咽頭結膜熱	137例	(堺市 13例)

府下305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 66例(堺市 9例)

報告数による順位。前週比2.3%増の4,031件であった。手足口病が府下で2%増、堺市で前週161例→今回148例であった。大阪府の定点あたりは8.81→8.95、堺市で8.47→7.79であった。大阪府では先週と同じく10ブロックで警報レベル開始基準値5を超えている。感染性胃腸炎が府下で前週比2例増、堺市で前週86例→今回70例。溶連菌感染症が府下で5%減、堺市で前週82例→今回93例。ヘルパンギーナが府下で11%増、堺市で26例→23例であった。咽頭結膜熱が府下で7%減、堺市で前週14例→今回13例であった。

基幹定点だけが報告するが、マイコプラズマ肺炎が8週連続で10例を超えている。大阪府が35→22例、堺市が5→8例であった。

インフルエンザが府下で前週41例→今回66例で前週比61%増であった。堺市で前週3例→今回9例であった。

府下305医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,320例(堺市 178例)
大阪府定点 4.33 堺市定点 6.14

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
48	78	52	208	132	140	145	167	114	124	112	1,320

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回1,001例→今回1,320例で32%増、定点あたり3.29→4.33。堺市で前週108例→今回178例は65%増、定点あたり3.72→6.14となり、大阪府のブロック別でワーストであった。

麻疹や風疹の報告なし。